

東近江市のまちづくり協議会

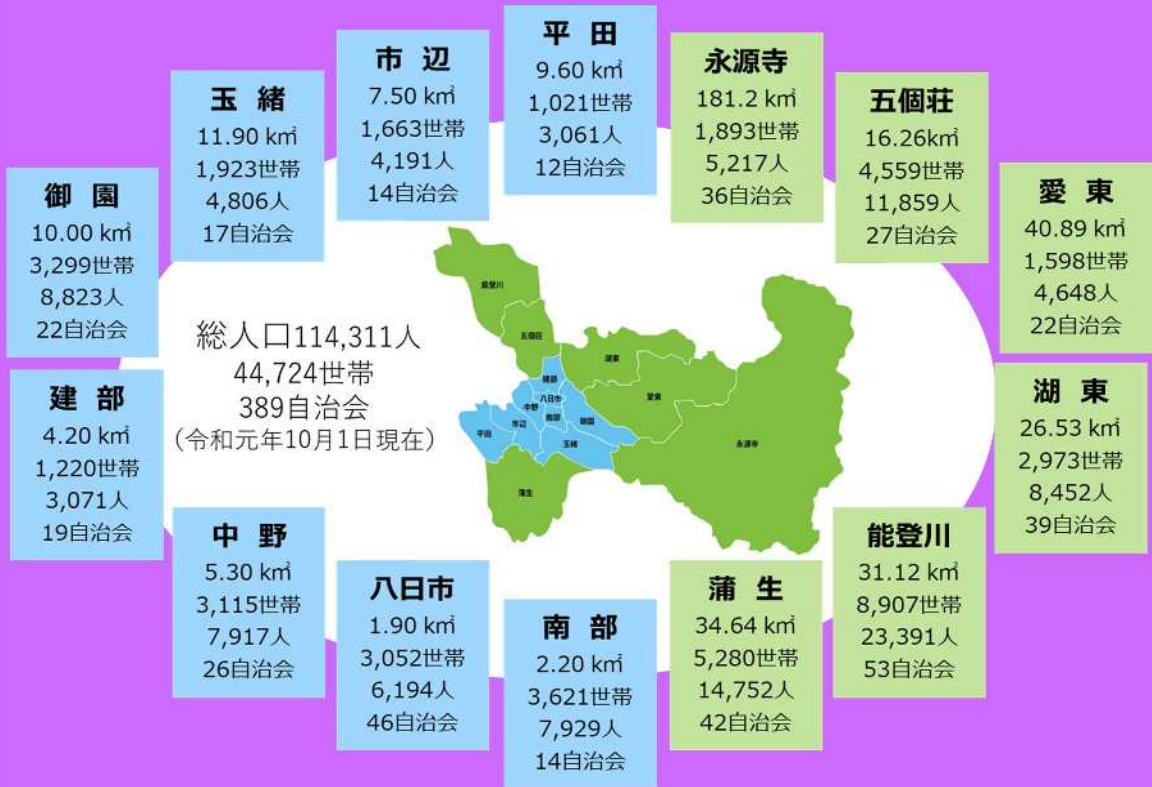
令和元年度 各地区の取組



まちづくり協議会のあゆみ

◇東近江市の誕生

平成 17 年 2 月 11 日に 1 市 4 町(八日市市・永源寺町・五個荘町・愛東町・湖東町)が合併。
その後、平成 18 年 1 月 1 日に蒲生町・能登川町と合併し、現在の形になりました。



◇まちづくり協議会の誕生

合併することにより、行政サービスの低下、各地区の個性や伝統文化が失われることが懸念されました。

そこで、市民が自主的に参加して、それぞれの地域課題を解決し、各地域の個性を活かしたまちづくりを行うため、東近江市の14地区すべてで「まちづくり協議会」が組織されました。

平成 26 年 4 月に「協働のまちづくり条例」が施行され、その中で、まちづくり協議会の位置づけ等も定められました。

まちづくり協議会は、まちづくりに包括的に取り組む団体として、また、行政の重要な協働のパートナーとして、ますます活躍が期待されています。

現在、14地区全てのまちづくり協議会が、各地区にあるコミュニティセンターを拠点として活動しています。



◇まちづくり協議会の設立日及びコミュニティセンター指定管理開始日

協議会名	地区人口 (人)	協議会設立日	コミュニティセンター 指定管理開始日
平田地区まちづくり協議会	3,061	平成17年 12月23日	平成23年 1月1日
市辺地区まちづくり協議会	4,191	平成19年 2月25日	平成23年 10月1日
玉緒地区まちづくり協議会	4,806	平成18年 12月10日	平成24年 1月1日
御園地区まちづくり協議会	8,823	平成18年 10月21日	平成24年 10月1日
建部地区まちづくり協議会	3,071	平成18年 2月25日	平成23年 10月1日
中野地区まちづくり協議会	7,917	平成18年 12月9日	平成24年 4月1日
八日市地区まちづくり協議会	6,194	平成18年 12月2日	平成24年 4月1日
南部地区まちづくり協議会	7,929	平成17年 9月19日	平成23年 4月1日
永源寺地区まちづくり協議会	5,217	平成17年 9月30日	平成26年 4月1日
五個荘地区まちづくり協議会	11,859	平成18年 3月18日	平成25年 4月1日
愛東地区まちづくり協議会	4,648	平成17年 5月21日	平成24年 10月1日
湖東地区まちづくり協議会	8,452	平成17年 7月14日	平成24年 4月1日
(一社)能登川地区まちづくり協議会	23,391	平成19年 3月10日	平成24年 4月1日
蒲生地区まちづくり協議会	14,752	平成18年 11月18日	平成25年 4月1日

※地区人口は令和元年10月1日現在

※(一社)能登川地区まちづくり協議会は、平成25年4月1日に法人化されました。

◇東近江市協働のまちづくり条例(抜粋)

(まちづくり協議会)

第18条 まちづくり協議会とは、地区の課題解決と個性を生かしたまちづくりに取り組むため、多様な主体が参加して自主的に設置する地域自治組織をいう。

2 市は、次の各号の要件を満たすまちづくり協議会を、一地区について一団体を認定するものとする。

- (1) 地区自治会連合会等の多様な主体が参画し、地区のまちづくりに包括的に取り組んでいること。
- (2) 地区のすべての市民を対象としていること。
- (3) 民主的な運営を行うため、規約を定めていること。
- (4) 地区のまちづくりの基本方針等を定めた「地区まちづくり計画」を策定していること。

(5) 運営に当たる役員や代表者は、民主的に選出されたものであること。

(6) 運営の透明性が確保されていること。

3 市は、まちづくり協議会の認定後、前項に規定する要件を満たしていないと認めた場合は、改善を求めなければならない。

4 市は、まちづくり協議会の活動を尊重し、技術的及び財政的援助等の必要な支援を行うものとする。

5 市民は、まちづくり協議会の活動に積極的に参加し、相互の交流を深めながら協働するものとする。

6 まちづくり協議会は、地区の課題を解決するため、市及びその他の組織と協働してまちづくりを推進するものとする。

7 まちづくり協議会は、各地区コミュニティセンターをまちづくりの拠点とし、市と協働して運営するものとする。

● 平田地区まちづくり協議会

(愛称) ひらた夢回議

(テーマ、スローガン) 平田地区で、誰もが住み続けたい、住んでみたくなるまちづくり

【令和元年度】

設立日	平成17年12月23日	認定日(当初)	平成18年1月16日
コミセン 指定管理開始日	平成23年1月1日	認定日 (条例による認定)	平成27年4月1日
事務所 連絡先	〈所在地〉 東近江市下羽田町84番地5 平田コミュニティセンター内 〈電話番号〉 0748-22-1950 〈IP番号〉 050-8034-1950 〈FAX〉 0748-22-1950 〈e-mail〉 hirata-co@e-omi.ne.jp 〈ホームページ〉 http://hiratayumekaigi.web.fc2.com/main1.html		
代表者	会長 村井 秀高	会員数	地区住民
会議・組織	本会役員 …会長、副会長3名、会計、事務局長、会計監事2名 評議委員会 …自治会長12名 企画運営委員会…本会役員(会計監事を除く)、特別部会長、専門部会長		
予算等の概要	<一般会計> まちづくり総合交付金：1,395千円/その他：1,842千円 <指定管理会計>※ページ下部参照 コミセン指定管理料：14,524千円/公園指定管理料：3,650千円 トレセン・グラウンド指定管理料：6,605千円/その他：4,000千円		
情報紙の発行	平田のみんなの情報誌「ひらたから」(A4版) 毎月発行 発行部数 1千部/月 主な内容 活動報告、行事案内、お知らせ 等		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	<p>■自治会連合会との連携 自治会連合会と連携を密にして効果的な事業推進に努めています。 ○年1回合同研修会の実施 令和元年度は小浜市の田村のゆめ づくり協議会で研修を行いました。</p> <p>○まちづくり懇談会の開催 雪野山等の地域資源活用の視点 からの整備及び周辺の里山保全を テーマに、市行政とまち協・自治会 連合会の役員が意見交換を行いま した。</p> <p>■東近江市トレーニングセンタ ー・平田グラウンドの管理運営 平成31年4月1日から東近江 市トレーニングセンターと平田グ ラウンドの管理運営を行っていま す。</p>		



指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

【若者定住】

- ・第14回水鉄砲合戦「世は戦国！雪野山夏の陣」の開催

瓶割山の山名の由来となった柴田勝家の伝説をもとに、柴田軍と六角軍の戦いを水鉄砲合戦で再現し、4人1チームで戦う平田地区の夏の風物詩です。

今回から若者が活躍する場として、また地域のイメージアップのため開催しました。



【子ども・子育て応援】

- ・つどいの広場「すずかけっこ」の開設
- ・「げんきっこ・ひらた」の活動

平田地区の小学生を対象に、地域での様々な体験と多様な人たちとの交流により、子どもの豊かな育ちと大人たちのつながりを深める活動を行っています。



【高齢者福祉】

- ・第2回ひらた健康教室の開催

誰もが楽しめるスポーツや自宅で出来る体操などを体験できる教室を開催しています。

- ・命のバトン事業

みんなで見守り、支え合う安心のまちづくりをめざし、命のバトン事業に取り組んでいます。



【田園環境】

- ・第2回「平田の田園環境」写真コンテストの開催

平田地区の豊かな自然や祭りの模様など、地域を象徴する田園風景を、写真を通じて多くの方に知ってもらい、地域の魅力発見や地域への愛着につなげる目的で開催しています。

- ・地域散策ガイド事業

散策路の補修や案内看板など、雪野山散策の安全確保に取り組んでいます。

【地域活性化】

- ・雪野山古墳発掘30周年記念講演会

平成元年の発掘から今年で30周年となり、これを記念して講演会を開催しました。

- ・ふるさと歴史再発見事業

地域の歴史・文化を次代に伝えるため、情報誌づくりに取り組みました。



【公園管理運営】

雪野山歴史公園・華岳山公園の指定管理者として、多くの方に、安全に楽しく利用していただけるよう管理運営を行っています。

● 市辺地区まちづくり協議会

(愛称) 万葉のまち いちのへ 市辺

(テーマ、スローガン) このまちで心豊かに住みつづけたい

【令和元年度】

設立日	平成19年 2月25日	認定日(当初)	平成19年 3月 1日
コミセン 指定管理開始日	平成23年10月 1日	認定日 (条例による認定)	平成27年 4月 1日
事務所 連絡先	〈所在地〉東近江市市辺町 2391 番地 市辺コミュニティセンター内 〈電話/FAX〉0748-22-0203 〈IP 電話〉050-5802-3392 〈E-mail〉ichi-kyo@e-omi.ne.jp 〈ホームページ〉http://ichinobe.sakura.ne.jp/wp/		
代表者	会長 須田 <small>ちひろ</small> 智廣	会員数	103名
会議・組織	役員会 7名(会長・副会長 3名・事務局長・コミセン業務主任者・会計) 運営委員会 29名(役員・全自治会長・各種団体代表・各専門部会長) まちづくり委員 91名 (広報部10名 自然環境28名 地域活力部10名 歴史・文化部12名 安全・安心部11名 健康・福祉部10名 こども健全育成部10名) 減災のまちづくりプロジェクト 56名		
予算等の概要	<一般会計> まちづくり総合交付金：1,472千円/その他：428千円 <指定管理会計> コミセン指定管理料：11,977千円/その他：905千円		
情報紙の発行	まち協広報誌 年4回発行「万葉のまち市辺」(第47号・48号・49号・50号) 【主な内容】 ・各部活動紹介(減災プロジェクト活動、歴史発見塾など) コミセン広報誌 毎月発行「市辺だより」※まち協広報誌共に音声テキスト版発行 【主な内容】 ・事業開催の案内・各種活動の紹介・防災標語の連載 など Facebook 開設 名称：市辺まちづくりセンター 地区の総合情報発信メディア		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	○指定管理 ・まちづくり部門とコミセン部門との協働でまちづくり事業に取り組んでいます。 こども事業、高齢者学級、歩こう会、歌声喫茶(チャリティ企画)、人権講座、 映画会(出前含む)、防災研修、福祉推進会議、歴史散策、料理体験など ○組織運営 ・役員会、運営委員会、総会の開催、専門部会議等開催し地域の問題解決の為の協 議を行い、住みよいまちづくりに日々前進しております。 ○自治会連合会や各種団体との連携 ・自治会長推薦の委員による減災のまちづくりプロジェクトでは今年度「減災かる た」を製作し、京都新聞、KBS ラジオ、びわこ放送等で紹介される。 ・健康・福祉部では老く連事業「高齢者ふれあいサロン」に社協と共催。 ○まちづくり専門部会の事業活動 ・歴史文化部 布施山城散策道の整備(案内表示板布施左衛門設置)、歴史発見塾。 ・自然環境部 ITポータル普及推進、園児の芋掘り体験、ゴミ処理センター見学など ・健康福祉部 高齢者ふれあいサロンの共催、健康講座開催。 ・安全安心部 万葉フェスタで非常食試食コーナー、防犯パトロール実施、普通救 命講習修了者の育成。 ・地域活力部 ムラサキの栽培研究、万葉フェスタのステージ設置と運営。 ・こども健全育成部 万葉フェスタで凧作り。青少年育成会との協働事業の模索。		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

いちのべ農園
「さつま芋苗の植え付け」



万葉フェスタ
短歌会（表彰式）



万葉フェスタ会場にて
非常食の試食コーナー



布施山登山ルートへ布施左衛門の設置

市辺地区文化祭の会場で投票により命名された「布施山登山ルート」の案内役「布施左衛門」さん。布施山に登られる皆さんを、凛々しい戦国武将が山頂に案内してくれます。1月26日、総勢12名（歴史・文化部6名、布施町自治会役員3名、布施の溜め池を守る会3名）の皆さんが設置作業をされました。歴史・文化部の苗村部長は「心配していた天候にも恵まれ、8時に集合し、9時過ぎに5体を設置しました。」と写真を添えてメールを下さいました。

市辺歴史発見塾

「御代参街道を歩く」



アルファー米と
こっぺばん粥

会場で凧づくり



コミセンにも
「布施左衛門」登場



ゴミ処理センターの見学
（中部国際空港）



わくわくこらぼ村

船岡エリア（市辺地区）減災のまちづくりプロジェクト

船岡中学校の地域活動の紹介

「減災かるた」大会

たくさん子ども達に参加



● 玉緒地区まちづくり協議会

(愛称) ハートフル玉緒

(テーマ、スローガン) 『自然と共生し、みんなで創る輝く玉緒』

【令和元年度】



設立日	平成18年12月10日	認定日(当初)	平成18年12月14日
コミセン 指定管理開始日	平成24年 1月 1日	認定日 (条例による認定)	平成28年 4月 1日
事務所 連絡先	〈所在地〉 東近江市大森町1030番地 玉緒コミュニティセンター内 〈電話番号〉 0748-22-6479 〈IP番号〉 050-5801-6479 〈FAX〉 0748-22-6479 〈e-mail〉 tamaomachi02@gmail.com 〈Facebook ページ〉 玉緒地区まちづくり委員会		
代表者	会長 藤川 万嗣	会員数	まちづくり委員 64名
会議・組織	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり協議会 会長(前年自治連会長)、副会長2名(当年自治連会長・まちづくり委員会代表) 事務局長(コミセン館長兼務)・事務局次長・会計・会計監事 2名 ・まちづくり協議会全体部会 ハートフル玉緒自主防犯隊(139名) ・まちづくり委員会(コミセン指定管理後に協議会事業を引き継ぐ) 代表・副代表1名・事務局長・会計・会計監査2名 (6名) ・運営委員会 役員・専門部会正副部会長・担当委員・コミセン館長(16名) ・専門部会 環境保全整備部会・歴史教育部会・健康福祉部会・広報部会 		
予算等の概要	<一般会計>総合交付金: 1,586千円/その他: 464千円 <指定管理会計> コミセン指定管理料: 12,011千円/その他: 1,312千円		
情報紙の発行	<ul style="list-style-type: none"> ・まちの情報誌「ハートフル玉緒」年3回発行(42~44号)し、その他の月はコミセン「玉緒だより」を発行。部数1,500部 ・まちづくり協議会(委員会)活動報告、文化・歴史・地域等の紹介 		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	<まちづくり協議会活動> ① コミセンの指定管理に伴う、管理運営を行う。 ② 協議会が、自治連・各種団体と共に3大事業(夏祭り・運動会・文化祭の企画~運営を行っている。 ③ 「ハートフル玉緒自主防犯隊」による地域パトロールの実施。 自治連・各種団体が地域全体事業として、防犯・防災・安心の為に青パトカーによる巡回を実施。 <まちづくり委員会活動> ① 環境保全整備部会 里山整備、桜並木の整備(自治連・各種団体協働)、夜桜ライトアップ、里山フェスティバル、玉緒小の里山体験授業の支援。 ② 地域歴史教育文化部会 玉緒小3年の大森城址見学会、布引小3年の町たんけん学習支援・玉緒幼稚園児の里山保育支援。スマホ・パソコン教室開催。 ③ 健康スポーツ福祉部会 3B体操、健康講座開催 ④ 広報部会 地域の情報発信「ハートフル玉緒」発行。 ⑤ ハートフルコンサート開催 バイオリン&チェンバロ演奏会・みんなで歌おう。		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介



① 布引山夜桜ライトアップ 3月31日(日)
今年で9回目を迎え、玉緒・布引小学校卒業生のペットボトル「願い札」を点燈しました。寒い日でしたが、地域住民120人余りに参加いただき夜桜を楽しみました。又、幼稚園児・小学生は、クイズゲームをしたり、「太子にゃん」と写真を撮ったりして大喜びでした。

② 玉緒小学校3年生の「かぶと虫の寝床」観察会 5月17日(金)
大きく育った幼虫にびっくり、早くかぶと虫になってね。



③ 桜並木の整備 6月9日(日)
まちづくり委員十数人が参加し、布引丘陵ウォーキングコースの桜の寄生木を除去し、かぶと虫寝床用チップに加工しました。



④ 里山フェスティバル 7月13日(月)
残念ながら、雨で中止となりましたが、子ども達50人余りが、楽しみにしていた「かぶと虫掘み」を体験しました。



⑤ 玉緒地区夏祭り 8月3日(土)
今年で8回目、すっかり定着した夏祭りが開催され、地区住民500人余りが参加し、地区団体のバザーや、江州音頭を楽しみました。



⑥ 玉緒地区文化祭 11月10日(日)
恒例の文化祭に、地区住民400人余りが参加。親子が「サンタさん作り」を楽しみました。



⑦ ハートフルコンサート 12月14日(土)
80人余りが参加、バイオリン&チェンバロ演奏と、「みんなで歌おう」を楽しみました。



● 御園地区まちづくり協議会

【令和元年度】

設立日	平成18年10月21日	認定日（当初）	平成18年10月30日
コミセン 指定管理開始日	平成24年10月 1日	認定日 （条例による認定）	平成27年 4月 1日
事務所 連絡先	<所在地>東近江市五智町351-2 御園コミュニティセンター内 <電話番号・FAX>0748-22-0503 <IP電話>050-8034-0503 <E-mail> misono-c@e-omi.ne.jp （御園コミュニティセンター内）		
代表者	小梶 善治	会員数	地区住民全員
会議・組織	役員会 7名（会長、副会長2名、顧問 事務局長） 運営委員会 34名（役員、各自治会会長、各活動部会長、会計） 活動 防犯ボランティアパトロール隊、かきみそのチャオ、学校支援活動部、健康の専門家会議、獣害対策部、秋まつり実行委員会、運動会実行委員会、サクラまつり実行委員会、結婚サポート等の事業。		
予算等の概要	<一般会計>まちづくり総合交付金：2,002千円/その他：96千円 <指定管理会計>コミセン指定管理料：11,881千円/その他：885千円		
情報紙の発行	【まち協みその】A4版4～8ページ 毎月発行 発行部数2,200部/回 ・まち協、自治連、コミュニティセンター、各種団体の広報紙としてひとつにまとめた情報紙を発行。 ・主な内容：まち協、自治連、各種地縁団体、ボランティアグループ、コミュニティセンターなどの活動紹介や講座PR、まちの話題など。		
指定管理や組織運営、自治連や各種団体との連携、まちづくり活動などで特にPRできること	<p>●組織運営 会長は前年度の自治会連合会の会長が就任、当年度自治会連合会の会長は副会長となること。議決機関である運営委員会の委員に自治会長全員が就任することでまちづくり協議会と自治会連合会との連携が図れています。また、活動部会制を止め、住民アンケートに基づいた地域課題をそれぞれに事業（活動）として取り組んでいます。</p> <p>●指定管理 まちづくり協議会と自治会連合会の事務局をコミュニティセンターが担う事でコミュニティセンターをまちづくりの拠点とした活動が出来ています。</p> <p>●自治連、各種団体との連携 まち協が実施した全住民アンケートを自治会別に集計し町別に行事や取組の評価/困り事/不安の確認/今後20年の人口推移を提供しました。この情報を元にして自治会の継続、発展に協働で取り組んでいます。 また、まち協では各種団体に地域活性化の活動提案を募り、事業費の支援を行うとともに共催事業を行っています。今年度は5団体とコラボしました。</p> <p>●まちづくり協議会の新しい取組 今年度から、まちづくり協議会として収益事業が出来るように会計処理を変更。活動の範囲を広げました。まず、御園地区特産品として米粉を使ったスティックパイを企画、販売を開始しました。お土産や話題作りに活用しています。また、自販機設置など自主財源確保にも取り組んでいます。</p>		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

令和元年度活動紹介

1、御園地区まちづくりの推進

1-1 健康寿命を延ばす取組



▲5月21日 スキンケア・メイク教室を開催しました



▲10月30日 みんなで歩こう会を開催、御河辺神社と五智興福寺を見学しました



▲9月4日 元気であるための栄養とお口の健康講座を開催しました



▲12月16日 スクエアステップ講習会を開催しました

1-2 まちづくり交流会



▲1月23日 ボランティア団体によるまちづくり交流会を開催しました



▲7月30日 歩き方教室を開催しました

2、防犯のまちづくり事業

2-1 防犯ボランティアパトロール



▲毎週2回、青パトで地域の安全パトロールをおこなっています

3、学校支援事業

3-1 共同の野菜栽培と収穫



▲6月17日 御園小学校児童と玉ねぎの収穫と採れたての新鮮玉ねぎを味わいました

3-2 小学校グラウンド整備



▲9月14日 地区運動会前御園小学校グラウンドの草刈りを行いました

4、こども体験事業

4-1 かきみそのチャオグループ



▲9月8日 野外料理に挑戦、水だけで炊き込みご飯を作りました

5、地域ふれあい事業

5-1 地区秋まつりの開催



▲11月10日 地区秋まつりを開催、コミセン大会議室では文化祭展示を行いました

5-2 地区桜まつりの開催



▲4月3日 地区桜まつりを開催、ミニグラウンドゴルフ・ミニ凧作り・屋台販売を行いました

6、獣害対策事業

▶12月9日 八日市猟友会・市林業振興課による獣害対策講習会を開催しました



7、農産物による地域交流事業

▶11月29日 コミセン駐車場・コミセン前にておすそ分け野菜市と喫茶・炊き出し等による交流会を開催しました



● 建部地区まちづくり協議会

(スローガン)『建部に生まれ、育ち、住んで良かったと言われる郷(さと)づくり』

【令和元年度】

設立日	平成18年 2月25日	認定日(当初)	平成18年 3月 2日
コミセン 指定管理開始日	平成23年10月 1日	認定日 (条例による認定)	平成28年 4月 1日
事務所 連絡先	〈所在地〉 東近江市建部日吉町 31 番地 (建部コミュニティセンター内) 〈電話番号・FAX〉 0748-22-0303 〈IP 番号〉 050-5801-0303 〈e-mail〉 tatebe-machikyo@e-omi.ne.jp		
代表者	渡辺 康雄	会員数	個人会員52名、団体会員12団体
会議・組織	評議委員会 18名(自治会長) 運営委員会 17名(地域団体代表者、まち協役員) 役員会 14名(会長、副会長3名、事務局長、会計、部会長4名、 コミセン館長、地域担当職員3名) 専門部会 4部会(環境美化、歴史文化、健康福祉、広報) 会員の範囲(建部地区に居住する住民で構成) ・個人会員(本会の趣旨に賛同し、参加する個人)52名 ・団体会員(自治会連合会及び本会の趣旨に賛同する地域団体)12団体		
予算等の概要	<一般会計>まちづくり総合交付金:1,227千円/その他:869千円 (自治会連合会助成金100千円、繰越金519千円、その他250千円) <指定管理会計> コミセン指定管理料:11,989千円/その他:619千円		
情報紙の発行	地域の身近な情報誌として「建部だより」を毎月1回発行(年12回) A4版4~6頁(カラー) 発行部数1,000部/回		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	<p>1. まち協役員および推進体制</p> <p>① 役員会は次の14名で構成する。会長1名、副会長3名、事務局長1名、会計1名、専門部会長4名、コミセン館長1名、地域担当職員3名</p> <p>② 役員会の活性化 役員会を毎月定期的に開催する。議論を活発化させ、効率良く行うため、会議資料を充実させ、議事録を発行する。</p> <p>2. 自治連、各地域団体との連携</p> <p>① 自治会連合会の会長がまち協の副会長に就任することで自治連との連携を図る。</p> <p>② 12の地域団体長とまち協役員が、まち協の運営に関し定期的に協議する。</p> <p>③ まち協の企画・運営および総会提出議案について意見を求めるため、自治会長で構成する評議委員会を必要に応じ開催する。</p> <p>3. 研修事業の推進</p> <p>まち協会員および地域団体関係者を対象とした先進地研修を7月6日に実施。名古屋市港防災センターを訪問し、防災・減災について学び、安全で安心な住みよいまちづくりに生かしていく。</p> <p>4. コミュニティセンターの指定管理の進捗状況</p> <p>① 指定管理の開始から9年目を迎え、地域住民の身近な施設として、また地域の皆さんに気軽に利用していただくため、開かれた施設運営を目指して取り組んでいく。</p> <p>② 施設の設備改修や環境整備を行い、利便性の向上に努めていく。</p> <p>③ コミセンに対する地域住民の意見を募り、今後の運営に反映していく。</p>		



まちづくり活動等の取り組み紹介

1. 建部里まつりの開催（6月2日）

住民が交流し、親睦を深めるため、「森を学び・森で遊び・森で食す」をテーマに第5回建部里まつりを河辺いきものの森で開催しました。

森の探検、クイズラリー、木のジャングルジムや竹の薄切り大会、木工遊びなどを楽しみました。お昼には羽釜で炊いたかやくご飯や豚汁をおいしくいただきました。

また、カレー、コーヒー、クッキー、パンの販売や、無料のかき氷、綿菓子、ポン菓子などもあり、子どもからお年寄りまでが初夏の1日を楽しく過ごしました。



2. 建部三大まつりへの参画

実行委員会形式で行われている建部三大まつりに参画しました。

- ① たてベサマーフェスタが7月21日に開催され、まち協はそうめんを提供しました。
- ② 地区運動会（10月13日）は雨天のため中止になりました。
- ③ 町民祭が11月10日に開催され、まち協は豚汁・焼き鳥の販売やスマートボール遊びを行いました。

3. 建部幼稚園グラウンドの芝生管理支援

平成27年に建部幼稚園と協業してグラウンドに芝生を植えました。その後は芝刈り作業を支援し、園児や保護者に喜んでもらっています。



4. 環境美化事業への取り組み

- ① 生ゴミの減量化を図るため、ダンボールコンポストに取り組んでいます。ダンボールコンポスト講習会を2回開催しました。（7月21日、11月16日）
- ② 植樹箇所およびポケットパークの草刈、コミセン前庭の剪定作業を年2回実施しました。（6月8日、10月6日）
- ③ 愛知川左岸堤防のごみ拾いを12月1日に行いました。
- ④ コミセン周辺の年末清掃を12月20日に行いました。



5. 歴史文化事業への取り組み

- ① 歴史探訪として、11月2日に45名で明智光秀が築城した丹波の福知山城と西国21番札所穴太寺を訪れ、歴史を学びました。
- ② 歴史講座を2月22日に開催しました。瓦屋禅寺住職の藤澤弘昭氏を講師にお招きし、瓦屋禅寺の歴史を踏まえ、仏教から読み解く「人の生き方」について広くお話ししていただきました。



6. 健康福祉事業への取り組み

- ① 子ども見守り活動の一環として、毎月2回、3カ所でまち協会員による交通立番を行いました。
- ② 健康寿命を延ばし、高齢期を元気に楽しく過ごせるよう、「ロコモ健康教室」を年10回開講しました。高齢者22名が体幹トレーニングや軽スポーツに組み込みました。
- ③ 命のバトンの普及活動として、建部全戸に命のバトンを紹介し、希望者へ配布しました。



7. 広報活動への取り組み

建部の良さとコミセンやまち協の活動を広く知ってもらうため、「建部だより」をコミセンと共同で毎月発行しています。



● 中野地区まちづくり協議会

(愛称) **なかのよいまち**

(テーマ、スローガン) 『みんなでつくる なかの よいまち』

【令和元年度】

設立日	平成18年12月 9日	認定日(当初)	平成18年12月14日
コミセン 指定管理開始日	平成24年 4月 1日	認定日 (条例による認定)	平成28年 4月 1日
事務所 連絡先	〈所在地〉東近江市中野町781番地5 中野コミュニティセンター内 〈電話番号・FAX〉0748-22-0154 〈IP番号〉050-5802-2311 〈e-mail〉nakano-machikyo@e-omi.ne.jp		
代表者	代表 西川 昭		
会議・組織	役員31名(運営委員、監査) 運営委員29名(代表、副代表、事務局長、会計、幹事) まちづくり委員41名(自治会選出、公募委員) 総会構成員105名(まちづくり委員、自治会長、各種団体長、市担当職員) ○まちあるきﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ ○歴史探訪ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ ○山と川保全推進ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ ○50年森整備 ○棕の木保全 ○広報委員会 ○婚活 ○もろて～な市		
予算等の概要	<一般会計>まちづくり総合交付金：1,720千円/その他：880千円 <指定管理会計> コミセン指定管理料：12,234千円/その他：766千円		
情報紙の発行	まちの情報紙「中野地区まちづくり協議会 広報紙」A4版4ページ 6月、9月、1月、3月 年4回発行発行部数2,500部/回 <主な内容> 地域に身近でホットなニュース、いま・むかしコーナー、特産品の紹介、サークル紹介、まち協事業、まち協総会報告等		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	<p>自治会連合会や各種団体との連携を強め、中野地区の総合的なまちづくりを目指して、まちづくり協議会の発足準備段階から続けてきた、毎月7日開催の「円卓会議」で住民が中野地区のまちづくりを語り合う場を大切にしています。活発な議論により、「婚活の継続」「もろて～な市」や、新たな取り組みとして「子ども食堂(なかのごはん)」をはじめてみました。</p> <p>中野地区の3大事業として、自治会連合会、各種団体が実行委員会で開催していた、「夏まつり」「運動会」と「文化祭」の実行委員としてその運営について、時代の経過を考慮した見直しも含め、企画段階から参画しています。また、まちづくり協議会の大きな事業である「50年森整備事業」は、森の見守りを続けることで、地域の子どもたちが安全に安心して遊べる場を提供し、住民の憩いの場として定着しました。今年度は婚活事業もこの地で開催し、参加者には彼岸花プロジェクトの推進にも一役買っていただきました。</p> <p>市の職員が地域担当として関わっていただき、市行政との連携が進み、共に地域を創り上げていく体制が整ってきました。コミュニティセンター西側の広場についても自治会連合会や地区社協と共に整備を進め、市の協力も得て地域住民に開放できる日も近づいてきています。“子ども食堂やってみます”とのテーマで「なかのごはん」も2回開催し、定期的な開催に向けて準備を進めているところです。4月からは毎月開催を目指しています。「もろて～な市」は、市内外の団体に興味を持っていただき、他地域での開催もあるようで、その広がり期待しています。今年度も県内外から中野地区に視察が多く、この地区の特徴である“地域の他団体との協働”を全面的にアピールできました。</p>		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介



50年森での婚活事業。参加者の顔を写せないのが残念なのですが、開会にあたり心構えを説く婚活成功のベテラン役員。この後50年森に彼岸花を植えて、近江牛バーベキュー大会。




子ども食堂中野流、なかのごはん試験的（やってみます）に2回開催、次年度より本格化？



12月7日開催のわくわくこらぼ村にて、おすそわけプロジェクト「もろて～な市」が優秀賞を受賞すると共に、愛東中学校の「愛東中の愛もろて～な賞」もいただき、ダブル受賞の快挙達成。

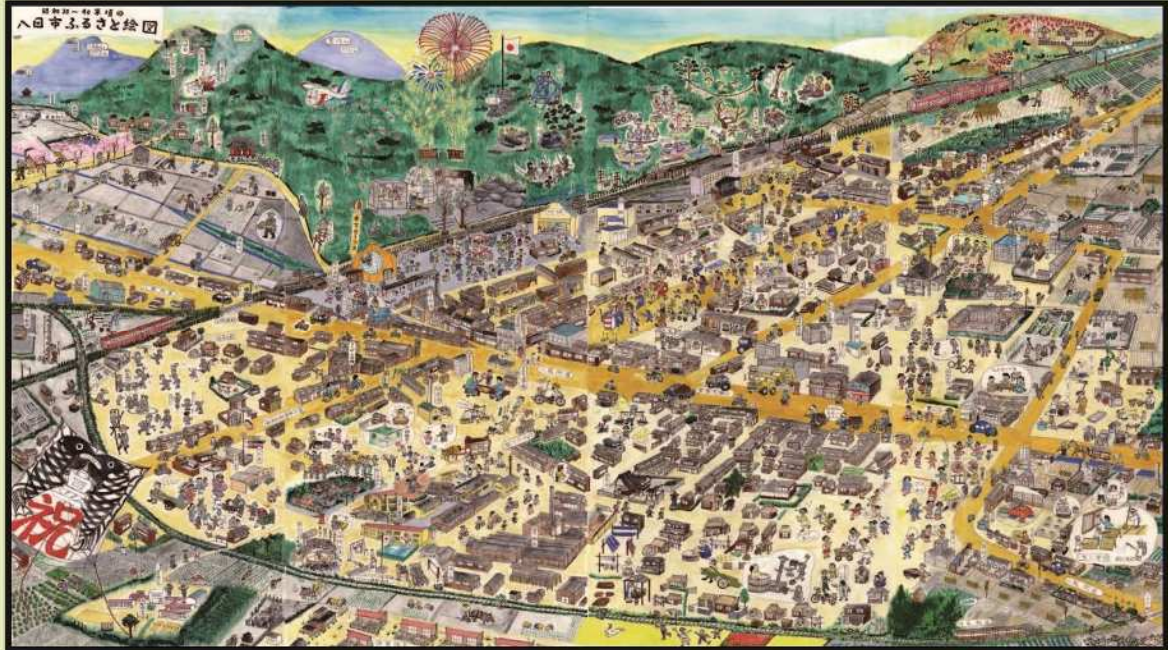
● 八日市地区まちづくり協議会

【令和元年度】

設立日	平成18年12月 2日	認定日(当初)	平成18年12月 5日
コミセン 指定管理開始日	平成24年 4月 1日	認定日 (条例による認定)	平成28年 4月 1日
事務所 連絡先	<p>〈所在地〉東近江市八日市町9番20号 八日市コミュニティセンター内 〈電話番号〉0748-23-4120 〈IP番号〉050-8034-1141 〈FAX〉0748-23-4120 〈e-mail〉ykaich-c@e-omi.ne.jp 〈ホームページ〉https://www.facebook.com/yokaichimachiky/ 八日市冒険遊び場 http://yokaichiplaypark.shiga-saku.net</p> 		
代表者	代表 高村 修	会員数	全住民が対象
会議・組織	<p>執行役員会 年2回(代表、副代表2名、常任理事3名、事務局長、会計、 コミセン館長、地域担当職員) 理事会 年2回(総自治会長6名、コミセン部会5名、プロジェクト部会 7名、会員より3名、広報委員より3名、地域おこし協 力隊委員1名、地域担当職員) 広報委員会 年4回(編集委員長1人、委員5人) プロジェクト:延命夢クラブ、箕作山麓里・山づくり、八日市冒険遊び場、花い っぱい、いきいきあったかサロン、子育て支援、八日市つなが り、清水川湧遊、防災、歴史文化、イーストレインボー</p>		
予算等の概要	<p>〈一般会計〉まちづくり総合交付金:1,464千円/その他:804千円 〈指定管理会計〉 コミセン指定管理料:13,936千円/その他:1,511千円</p>		
情報紙の発行	<p>八日市まち協だより A4版4ページ 年4回発行 発行部数 2400部/回 主な内容:まち協の活動報告、わがまち探訪、きらり~この人~、 八日市ピンポイント、各プロジェクトの活動報告、 コミュニティセンターの事業報告、各総自治会の紹介など</p>		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などでPR できること	<p>2か年計画で取り組んだ歴史文化プロジェクトの「八日市ふるさと絵屏風」 が完成しました。完成した絵屏風は、箕作小学校や八日市南小学校の3年生の 総合学習で教材として使用したほか、自治会館にレプリカを寄贈し多くの方々 に見てもらおう予定です。また、ふるさと絵屏風を基にしたカルタづくりも計画 中です。 東近江市の結婚サポート連絡会に、八日市地区まちづくり協議会としてサポ ーターが2名参画していますが、この2名に加え今年度から結婚サポーター 応援隊を発足させました。応援隊は、6総自治会に各3名(男1名、女2名)を お願いし、市や他のまち協の婚活イベントを広め、結婚希望者があれば結婚サ ポーターにその情報を伝えるなどの役割があります。将来的には八日市地区で 婚活イベントができればと考えています。</p>		

指定管理・組織運営・他団体との連携・まちづくり活動等の取り組み紹介
 歴史文化プロジェクトの「八日市ふるさと絵屏風」が完成しました。

八日市ふるさと絵屏風



八日市がにぎわっていた昭和20年～40年代の情景を再現しました

不計複製・無断転載 2019. 11

八日市ふるさと絵屏風ができるまで



平成30年3月3日歴史文化プロジェクトが発足

ふるさと五感アンケートで、みなさんの記憶の引き出しから懐かしい体験を引き取り出させていただきました。

1. 今も目に浮かぶ風景や印象深い光景
2. なつかしい音や印象深い音
3. 印象深いにおい、思い出のおいや香り
4. 手足の感触や暑さ寒さ、熱さ冷たさの体験
5. 思い出の味や印象深い味、味覚体験

八日市ふるさと絵屏風は、写真には残っていない人々の五感（視覚、聴覚、嗅覚、触覚、味覚）に刻まれた記憶を、絵として表現しようとするものです。



ふるさと五感アンケートをもとに自治会や高齢者サロンで聞き取り



甲賀市で行われた絵屏風フォーラムで先遣地研修



出来上がった下絵をプロジェクトメンバーで検討。



アンケートを集計すると1000項目以上あり、これを事柄ごとに分類



本町商店街のみなさんから聞き取り



屏風の大きさの和紙に転写



着色は聖徳中学校と八日市高校の美術部との共同作業



聖徳中学校と八日市高校の美術部との記念撮影

八日市ふるさと絵屏風は、八日市コミュニティセンター多目的スペースで展示しています。ぜひ、身近にご覧ください。また、リーフレット等制作委員会を立ち上げ、絵屏風についてわかりやすく解説したリーフレットも作成します。ご期待ください。

八日市地区まちづくり協議会
 歴史文化プロジェクト

● 南部地区まちづくり協議会

(愛称) ときめく南部(まち)

(テーマ、スローガン) 『誰もが笑顔で暮らし、活力あふれるまち』

【令和元年度】

設立日	平成17年 9月19日	認定日(当初)	平成17年10月17日
コミセン 指定管理開始日	平成23年 4月 1日	認定日 (条例による認定)	平成28年 4月 1日
事務所 連絡先	<p>〈所在地〉東近江市沖野2丁目1番34号 南部コミュニティセンター内 〈電話番号・FAX〉0748-23-1573 〈IP番号〉050-8034-1573 〈e-mail〉 nanbumachikyo@e-omi.ne.jp</p>		
代表者	会長 森 基一	会員数	75名
会議・組織	<p>役員会6名(会長、副会長3名、事務局長、会計)(内副会長1名は自治連会長) 運営委員会17名(役員、専門部会長(兼務有)コミセン館長、地域担当職員) 評議委員会30名(役員、地区内自治会長14名、各種団体長10名) 拡大運営委員会 運営委員全員 会員の範囲 趣旨に賛同する個人、各自治会からの推薦者、各自治会(団体会員)</p>		
予算等の概要	<p>〈一般会計〉まちづくり総合交付金:1,637千円/その他:709千円 〈指定管理会計〉 コミセン指定管理料:12,169千円/その他:1,272千円 〈特別会計〉ダンボールコンポスト普及啓発事業:2,400千円(委託料等)</p>		
情報紙の発行	<p>1. まち協会員向けA4両面版「ホットニュース」毎月25日発行 事業日程並びに参加案内及びイベント案内 2. 南部地区内総合広報紙「南部だより」毎月発行にトピックス及び 実施事業案内を掲載</p>		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	<p>1. 地区内イベント(南部まつり、運動会等)協力と参画 2. 可燃ごみ減量化と循環型社会づくりを目指す各種コンポスト事業の強化継続 再資源可能物コーナーの管理運営継続 3. 休耕田を活用し野菜栽培を通じて、地域の児童等とのふれあいを深める 4. 八日市南小学校長期休業期間における学習支援活動への協力(年4回) 5. 八日市南小学校子ども森の維持管理 6. 安全・安心のまちづくり推進に伴う各種事業の実施等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月2回(交通安全日)通学路交差点における交通安全立ち番と子ども達への挨拶運動の継続実施 ・地域美化活動として毎月一回道路沿いのゴミ清掃 ・命のバトンの配布事業 ・地域住民福祉活動計画の一環として「ほっとまちカフェ」の運営 毎月7日に開催 ・「南部みんなの秋まつり」の実施 <p>昨年まで行ってきた、「納涼夏まつり」を暑さ対策の面から、秋季に移行し、また南部地区社旗福祉協議会事業「子ども広場」と共催事業として新たな事業に取り組んだ。次年度も継続して実施予定。</p>		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

1. コミュニティセンターの運営管理

- ・毎週土曜日午前中開館（職員の輪番制にて）
- ・休日貸館の管理
- ・コミュニティセンター内外環境の整備、維持管理

2. 地域住民へのPR活動を強化し意見調整の場を設け、充実した活動の展開

- ・先進地研修等の企画推進

3. “なんぶまちづくり”のHPのリニューアル構築中

- ・意見集約と管理体制の確立

4. 南部地区の防災・減災

- ・自治会、地区社協、自主防災組織等との連携
- ・自主防災組織未設立自治会への働きかけ

5. 少子高齢化時代に役立つ地域風土作り

- ・老若男女が集える場づくりで、ほっとまちカフェを継続
- ・地域特性を踏まえた住民参加による支え合いづくりの推進
- ・粋・生きサロンで和服リフォームを通じて、生きがいづくり
- ・命のバトン配布事業での推進

6. 住民の環境意識を高め、ごみ全体の減量化から、収集経費及び処理費用軽減の節約

- ・各種コンポスト事業の普及啓発活動の推進
- ・「生ごみ堆肥講座・菜園講座」の開催を通じて、堆肥の活用方法を啓発
- ・資源ごみの分別収集を推進し、再資源化を協力に進める

7. 男女・年齢を問わず皆が集い、学び趣味を生かせる場作り

- ・愛犬家による地域パトロール
- ・休耕田を活用した野菜の収穫体験学習や子ども森で焼き芋体験
- ・3R（リフォーム・リユース・リサイクル）を積極的に推進
- ・学習支援活動（べんきょう会）で学習の習慣づけ
- ・あびこ（挨拶・美化・交通安全）活動の継続展開

8. 地域の成り立ち学習

- ・「心象沖野開拓絵図」を活用して、南部地区の歴史と成り立ちを伝承
八日市南小学校4年生の総合学習で実施

南部みんなの秋まつり



子ども森焼き芋体験



● 永源寺地区まちづくり協議会

(愛称) We Are The One “みんなでひとつ”

(テーマ、スローガン) 『里いっぱい **新** 呼吸 笑顔のまち えいげんじ』

【令和元年度】

設 立 日	平成17年 9月30日	認 定 日 (当初)	平成17年10月17日
コミセン 指定管理開始日	平成26年 4月 1日	認 定 日 (条例による認定)	平成27年 4月 1日
事 務 所 連 絡 先	<p>〈所在地〉 東近江市山上町 1316 番地 永源寺コミュニティセンター内 〈IP 番号・FAX〉 050-5802-9336 〈e-mail〉 e-net6500@e-omi.ne.jp 〈ホームページ〉 http://members.e-omi.ne.jp/e-net6500/</p>		
代 表 者	会長 山田 重三	会 員 数	75人
会 議・組 織	<p>役員会(会長、副会長、監事)6名 随時開催 運営委員会(役員、部会長、会長が指名した者) 概ね3ヶ月1回開催 専門部会 6部会 随時開催</p>		
予 算 等 の 概 要	<p>〈一般会計〉まちづくり総合交付金: 3,033千円/その他: 6,226千円 〈指定管理会計〉 コミセン指定管理料: 27,891千円/その他: 1,555千円</p>		
情 報 紙 の 発 行	<p>e - NET6500 年6回発行 A4/最大12頁 カラー(現在: No.89) (まちの話題、まちきょうだより、クローズアップ 他) e - NET6500情報版 毎月発行 A4/4頁 白黒(現在: No.176) (イベント等告知、くらしのカレンダー、学校・園だより、コミセンだより他) ホームページ 随時更新</p>		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	<p>「自らの地域は自ら考え自ら行動していく」を基本に、地区の伝統文化を再発見し継承していくと共に、次代を担う人材を地域の子育て団体と協力し、地域活力を生み出す、そんなまちづくりをめざす。</p> <p>○地域の良さを再認識し、継承していく取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千草街道の整備及びわがまち探訪事業(千草街道を往く) ・きらり! えいげんじ再発見事業 ・地域案内として自治会名看板の設置 ・大本山永源寺のライトアップ <p>○環境にやさしいまちづくりへの取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミの分別意識の高揚(エコキャップ、プルトップ、割り箸等の回収) ・大型金属資源回収 ・花と緑に囲まれたまちづくり(花苗の配布) <p>○情報誌などを通じ、地域連携を深め地域福祉の推進を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て応援事業 ・婚活事業「田舎 de 縁結び」 ・みんなのふるさと祭り <p>※地域固有の資源を活用して活動することにより、地域の良さをみんなで共有し、地域に対する誇りと愛着心の醸成に繋げていく。より多くの住民が参画しやすい組織にするため、事業やイベントを企画・運営することについて、各自治会、地区内の関係団体等と連携を密にし、互いに協力し活動しています。</p>		

指定管理・組織運営・他団体との連携・まちづくり活動等の取り組み紹介

- 平成26年4月1日より永源寺コミュニティセンターを指定管理しており、コミセン事業とも連携したまちづくりに取り組んでいます。
- 自治会連合会と連携し、行政への要望を直接出来る「まちづくり懇談会」の実施や自治会単位では困難である大型金属資源ゴミ回収を開催しています。
- 文化の薫る個性あるまちづくりを進めてきたが、さらに磨きをかけ永源寺の魅力を高めるために関連するイベントの開催、登山コースの整備、花いっぱい運動などを実施しています。
- 福祉団体と協力し、地域へ若者をと婚活事業に取り組んでいます。
- 情報誌の充実により、まちづくりに取り組んでいるまちづくり協議会や各種団体・各自治会の活動を紹介し、住民の皆さんに参加および啓発を呼び掛けています。

◎ 画像での活動紹介（一部）

千草街道を往く



大型資源ゴミ回収



きらり！えいげんじ 再発見



永源寺ライトアップ(ともしびミニライブの開催)





● 五個荘地区まちづくり協議会

(愛称) GO!まち協

(テーマ、スローガン) 心イキイキはつらつと みんなが愉しむまちづくり

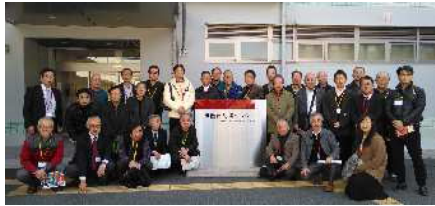
【令和元年度】

設立日	平成18年 3月18日	認定日	平成18年 3月23日
コミセン 指定管理開始日	平成25年 4月 1日	認定日 (条例による認定)	平成27年 4月 1日
事務所 連絡先	〈所在地〉東近江市五個荘小幡町318 五個荘コミュニティセンター内 〈電話番号〉0748-48-7303 〈IP番号〉050-5801-7303 〈FAX〉 0748-48-6454 〈e-mail〉 go-machikyo@e-omi.ne.jp 〈ホームページ〉  〈フェイスブック〉 		
代表者	小 杉 勇	会員数	地区住民全員
会議・組織	役員会 7名(会長、副会長、顧問、事務局長、館長) 運営委員会 24名(役員、相談役、各事業部正副部長、有識者) 事業部会 安心・安全部会12名、環境部会11名 歴史・文化部会17名、地域福祉部会19名、情報誌部会7名 自治会推薦まち協推進員44名 地域担当職員7名、地域イベント協力隊88名 構成員 五個荘地区に在住、在勤する全ての人と地域の活動団体		
予算等の概要	<一般会計> まちづくり総合交付金：2,921千円/その他：4,469千円 <指定管理会計> コミセン指定管理料：26,761千円/その他：2,389千円		
情報紙の発行	まちづくり情報誌「GO!まち協」 A4版8ページ 偶数月 6回発行 発行部数4千部/回 〈主な内容〉特集、まちの話題、ひと・まち・団体の紹介、行事予定 他		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	<p>【重点施策】</p> <p>「五個荘地区まちづくり2030年プラン」に基づき、五個荘地区が抱える課題解決と10年後の地区の情勢を鑑み次の4点を基本柱とした全住民参加型事業に取り組みます。地域の皆さんの協力のもと、関係機関・団体と十分に話し合いながら、それぞれの工程表を作成し実施、展開していきます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">歴史・伝統・文化・観光のまちづくり</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">健康・子育て・福祉のまちづくり</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">人・地域とのつながり・人権・教育のまちづくり</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">安心・安全・環境第一のまちづくり</div> <p>【協働事業として】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中山道五個荘にぎわい事業委員会 中山道沿線の歴史遺産を掘り起こし、地域の活性化と交流人口の増加、観光事業に寄与します。 東近江トレイル実行委員会 里山保全活動を推進する3団体、健康推進団体と協働し、猪子山・織山・箕作山のトレッキングコースの選定、整備をしています。また健康づくりや観光目的としたツアーを企画し、自然と歴史遺産をまもりながら、山の魅力を発信、地域の活性化を目指しています。 		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

【安心・安全事業部】

◇「防災視察研修会」



←自治会連合会との協働共催で「伊勢市防災センター」を視察。実際使用されている通信指令室や車庫・備蓄倉庫を見学し、浸水車両からの脱出、煙・暗闇の中からの避難訓練なども体験しました。



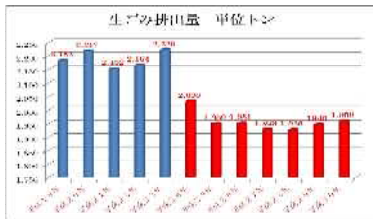
◇「総合防災訓練」



←五個荘全自治会と五個荘中学校の全校生徒が取り組みました。各自治会が一時避難所に集合したあと、五個荘中学校へ避難集合し、AED・炊出し・放水・バケツリレー訓練などを行いました。参加者はのべ1,000人を超えました

【環境事業部】

◇生ごみ減量化「ダンボールコンポスト」



↑ H23年に五個荘が生ごみ減量化活動に取り組み始めてから、可燃ごみは7年間で★排出量1,850トン ★処理費用 6,105万円減らすことができました(23年度比)

◇大型金属資源回収(年3回実施)



↑延べ100人のボランティアが年間約20トンの金属資源を回収しています。

【地域福祉事業部】

◇てんびんの里ふれあい広場



↑五個荘地区最大のイベントとして約8,000人の来場者でにぎわいました。ステージでは淡海文化書道学校のライブ書道や地元のダンスチーム、滋賀学園のチアリーディング、赤レンジャイのショーで場内は盛り上がりました。

◇歌声喫茶「ピーちくパーク」



↑参加者のリクエスト曲を生伴奏に合わせて歌います。毎年1月開催の新春歌声喫茶はゲストを招いてのステージがあり今年度は参加者140人と大盛況でした。

【情報誌事業部】

◇「GO!まち協」発行

→まちの話題や行事予定など地域の情報満載。地域の特産品が当たる「五個荘クイズ」も人気です。



ほく「てんびん坊や」です。五個荘のパブリックキャラクターとして活躍中です。

てんびん坊や

<https://tembinbouya.com/>

● 愛東地区まちづくり協議会

(愛 称) 愛の田園(まち) ネット

(テーマ、スローガン)「あいとう大好き! あいとうの元気とやさしさを未来につなごう」

【令和元年度】

設立日	平成17年 5月21日	認定日(当初)	平成17年 7月21日
コミセン 指定管理開始日	平成24年10月 1日	認定日 (条例による認定)	平成27年 4月 1日
事務所 連絡先	<所在地> 東近江市下中野町 431 番地 愛東コミュニティセンター内 <電話番号> 0749-46-2270 <IP 番号> 050-5802-8614 <FAX> 0749-46-2270 <e-mail> machinet@e-omi.ne.jp <ホームページ> http://membere.e-omine.jp/machinet		
代表者	会長 藤関 明雄	会員数	113人 (内訳: 正会員…個人80・家族3、自治会22、賛助会員8)
会議・組織	<ul style="list-style-type: none"> ・役員 9名 (会長、副会長、監事、事務局長、事務局次長、館長、顧問) ・運営委員会 24名 (役員、専門部会長、地域担当職員、支所職員等) ・評議委員 22名(自治会長) ・まちづくり委員 22名(各自治会1名) 【専門部会】広報部、防災自治まちづくり部会、地域ふれあい活動部会、花づくり部会、福祉プロジェクト部会、イベントサポートプロジェクト部会、若者のまちづくりプロジェクト部会、愛のまち交流プロジェクト部会、獣害対策プロジェクト部会、愛東住みたいプロジェクト部会		
予算等の概要	<一般会計> まちづくり総合交付金: 2,660千円/会費: 671千円 /その他: 1,369千円 <指定管理会計> コミセン指定管理料: 26,091千円/その他: 2,996千円		
情報紙の発行	<ul style="list-style-type: none"> ・元気なまちづくり情報誌「愛の田園(まち)だより」 ・A4版 8ページ 毎月発行 発行部数1,500部/月 <主な内容> 特集、地域の話、イベント案内、コミュニティセンターの情報等		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	<ul style="list-style-type: none"> ・「愛東が好き」と市民や子どもたちに言ってもらえる活動や、自治連と連携して地域課題解決に向け取り組んでいます。 ・より一層の工夫で、ふれあい、楽しんでもらえる夏まつりと秋まつりを行っています。 ・愛東の次世代を担う若者を支援する活動を行っています。 		



指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

1 本部事業

(1) まちづくり三者合同会議

自治連とまち協と支所とが連携を図るために意見交換等を行っている。

(2) 愛の田園づくり会議

地区課題の掘起し、解決に向けた取り組みを自治連、市議会（現・前・元）まち協OB、有識者で構成している。

(3) まちづくりの三本柱のコミセンの活動 次の3つの柱で活動している。

- ①「あいとうの個性をつくる」 愛東のよさ（自然・歴史）を再発見
- ②「生きがいをエンジョイする」 ライフステージに応じた学ぶ楽しさ
- ③「コミュニティをつくる」 お互いにつながり合うよろこび

(4) 愛の田園新春のつどい

自治会長・団体長等が一堂に会し、令和2年の始まりに「新春のつどい」を開催した。

2 部会活動

(1) 広報部

- ・元気なまちづくり情報誌「愛の田園だより」毎月発行

(2) 防災自治まちづくり部会

- ・防災シンポジウムの開催
- ・防災出前講座の開催（ぬかくど等の紹介）

(3) 地域ふれあい活動部会

- ・あいとう夏まつりとあいとう秋まつりの開催
- ・出前サンタの実施
- ・イルミネーションの実施

(4) 花づくり部会

- ・美しい花のある風景のある町づくり 花街道整備及び町内プランター設置
- ・地区玄関口等への「水やり省カプランター」の設置

(5) 福祉プロジェクト部会

- ・8月10日「バトンの日」啓発活動
- ・命のバトン啓発ポスター及び標語場集
- ・認知症研修会の開催
- ・ちょこバスの啓発

(6) イベントサポートプロジェクト部会

- ・バザー実施による地区内イベントの盛り上げ支援

(7) 若者のまちづくりプロジェクト部会

- ・「若者が活動するまち」を考える研究会の立ち上げ
- ・若者による「カフェ劇」の開催
- ・滋賀国際映画祭2019の開催

(8) 愛のまち交流プロジェクト部会

- ・北海道愛別町の小学生の受け入れときのこフェスティバルへの参加
- ・愛のメッセージの実施

(9) 獣害対策プロジェクト部会

- ・集落ぐるみの追い払い活動への支援
- ・追い払い研修会の実施

(10) 愛東住みたいプロジェクト部会

- ・既存移住者と地元との交流会の開催



● 湖東地区まちづくり協議会

(愛称) 好きやねん湖東

(テーマ、スローガン) いきいき ほのほの わくわく あったか湖東時間

【令和元年度】

設立日	平成17年 7月14日	認定日(当初)	平成17年 9月20日
コミセン 指定管理開始日	平成24年 4月 1日	認定日 (条例による認定)	平成28年 4月 1日
事務所 連絡先	〈所在地〉 東近江市池庄町495番地 湖東コミュニティセンター内 〈電話番号〉 0749-45-0950 〈IP番号〉 050-5801-0950 〈FAX〉 0749-45-2049 〈e-mail〉 suki-koto@e-omi.ne.jp 〈ホームページ〉 http://www.sukisuki-koto.jp/		
代表者	会長 小島 善雄	会員数	地区内市民が対象
会議・組織	総会、理事会、運営委員会、まちづくり推進員会議 部会 福祉部会、広報部会、防災コミュニティ部会、みどり環境部会、 湖東企画部会 プロジェクト 湖東歴史文化PJ、子育て支援PJ、子どもいきいきPJ、 福結びPJ		
予算等の概要	<一般会計>まちづくり総合交付金：3,905千円/その他：856千円 <指定管理会計> コミセン指定管理料：28,087千円/その他収入：5,567千円		
情報紙の発行	まちづくり情報誌「好きやねん湖東」 毎月1回発行 コミュニティセンターと共同編集、発行部数2,700部/月 A4版4面 〈主な内容〉表紙には地域の話題となった写真コメント、まち協および各種団体の活動紹介、行事予定、話題の人紹介、コミュニティセンター関係記事など		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	◎ 自治会や各種団体との連携 各自治会から1名のまちづくり推進員に出てきていただき、まち協活動のお手伝いをしていただいています。また、自治連会長と3名のまちづくり推進員代表及び各種団体からの代表4名に、理事に就任していただいています。輪転機や大判プリンター利用などの用事で、まち協に頻繁に足を運んでいただいています。 ◎ 子どもたちがいきいきと過ごせるまちづくり 新入生の通学路安全点検の他、夏休み宿題応援教室・ちびっこ夕涼み会・社会科見学バスツアー・通学合宿・親子防災クッキング体験・クリスマス会・書きぞめ教室・スケート教室・冬の森探検などなど、子どもや保護者を対象とした多彩な催しを実施しています。 ←バスツアーで県会議場を見学		



指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介



多くの団体との協働による「ふるさとまつり」



企画部会「おうちにサンタがやってきた！」



環境部会「幼稚園の芝刈り」



福祉部会「一人暮らしのつとめ」で多世代交流



防災部会「防災クッキング教室」を親子で体験



歴史文化PJ「歴史講演会」と「中学校の石碑清掃」



福結びPJ「婚活チラシ配り」



子どもいきいきPJ「通学合宿のドミノ倒し」と「冬の森探検」



子育て支援PJ「スケート教室」

他にももっともっと……

広報部会が広報紙「好きやねん湖東」を毎月発行。HPの更新も行っています。

協働では夏の祭典「コトナリエ」も忘れちゃいけません。福祉部会の中に入った「まちカフェ」も毎月2回の開催に加えて、自治会への出張や「手づくりマルシェ」も！

コミュニティセンターの運営も行っています！

その他にも……ああっ、とても書ききれない……

● 一般社団法人能登川地区まちづくり協議会

(愛称) ホップ♪ステップ♪のとがわ

(テーマ、スローガン) 『住みよい 住みたい 住み続けたい 水車のまち 能登川』

【令和元年度】

設立日	平成19年 3月10日	認定日(当初)	平成19年 3月13日
コミセン 指定管理開始日	平成24年 4月 1日	認定日 (条例による認定)	平成27年 4月 1日
事務所 連絡先	〈所在地〉 東近江市躰光寺町262番地 能登川コミュニティセンター内 〈IP電話番号〉 050-5802-2793 〈FAX〉 0748-42-1556 〈e-mail〉 notomatikyo@e-omi.ne.jp 〈ホームページ〉 http://notomatikyo.com/		
代表者	会長 藤居 正博	会員数	262名
会議・組織			
予算等の概要	<一般会計>まちづくり総合交付金：5,415千円/その他：1,001千円 <指定管理会計>コミセン指定管理料：42,703千円/ ホール指定管理料：10,263千円/公園指定管理料：9,360千円/その他：370千円		
情報紙の発行	■まちの情報紙「ホップ♪ステップ♪のとがわ」8,500部/回(全戸配布) A4版 8ページ(カラー4、白黒4) 偶数月 年6回発行 ■会員情報紙「のとまち協NEWS」毎月1日発行(280部)		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 5月、「文化公演会」(男声ボーカルユニット HAMORI-BE)に協賛。 ○ 同、初めての開催「やわらぎの郷フェスティバル」を支援。好評を博す。 ○ 10月、「第27回能登川ふれあいフェア」(来場者約2.4万人)に協賛。 ○ 11月、「まちづくり懇談会」で地域課題の解決に向け、市と協議を行う。 ○ 12月、第6回「わくわくこらぼ村」に地域団体とともに参加。活動紹介。 「栗見出在家町魚のゆりかご水田協議会」が、わがまち「協働大賞」を受賞。 ○ 12月、継続は地域の支え「第16回 Lighting Bell in NOTOGAWA」に共催。 ○ 3月、「元気のつどい」はじめ、健康長寿を目指した健康推進諸活動。婚活も。 ○ 能登川病院を支える「能登川病院をよくする会」諸活動支援。会は11月に6周年を迎え、総会と記念講演会を開催。一層の活動の強化を確認した。 ○ 「東近江市観光ボランティアガイド協会能登川支部」の設立と活動を支援。 ○ 「猪子山・地獄越え周辺の山道を良くする会」の整備活動を支援。 ○ 避難所としての「学校見学会」、12月「福祉と防災のまちづくり講演会」に共催。3月「防災カフェ」等、地区の防災活動に積極的に取組み発信。 ○ 自治会毎(現53自治会)の懇談(「まちカフェ」)機会を誘う。課題共有検討。 ○ 鈴鹿から琵琶湖「栗見プロジェクト」(琵琶湖岸復活大作戦)2年目に取組む。 ○ JR能登川駅開業130周年を祝い諸行事を展開。全市的な活性化を図る。 ※能登川コミュニティセンターの年間利用者が10万人に達する。		

広報事業部
情報紙発行



JR 能登川駅開業 130 周年記念事業 「一日駅長就任式典」

地区の活性化の一助として、6/30 JR 能登川駅自由通路において、一日駅長就任式典開催（右）

7/14 には、記念式典と講演会を開催した。



栗見プロジェクト 湖岸景観の美化・自然環境の保全を住民参加で行おうと昨年から活動開始。次年度も継続予定。



環境事業部 11/12 能登川中学校美化活動「フラ輪—プロジェクト」支援。JR 能登川駅前を花で飾ります。フラワーポットは現在 35 基。能登川南小学校も参画。駅東口を担当。（上）

猪子山周辺の山道整備支援
山中で整備する会員（下）



第 16 回 2019

Lighting Bell in NOTOGAWA
林中央公園を飾る 15 万個のイルミネーションは師走恒例。（開催：12/14～12/24）



歴史・文化事業部

能登川南小学校の「猪子山学習」にふるさと散歩道事業部とともにガイド。



施設運営事業部 6/18 コミュニティセンターホールで能装束着付実演と能『狸々』公演（下左）を協賛し能登川中学 3 年生、11/19 びわ湖ホール声楽アンサンブル公演オペラ「泣いた赤鬼」で能登川地区 4 小学校 6 年生を招待、本物との出会いを体感。3/1 JAZZ セッション「田井中福司凱旋ライブ」主催。その他、グラウンドゴルフ、ゲートボール大会を主催、指定管理施設の有効利用と地域住民の健康と生き甲斐づくりに努める。5/19 初めて開いた、「やわらぎの郷フェスティバル」も盛況。（下中）



ふるさと散歩道事業部

舞台は猪子山。神話の創作とパワースポットの発掘。冊子にして地区の学校・駅等頒布紹介



● 蒲生地区まちづくり協議会

(テーマ、スローガン) 『このまちで心豊かに住み続けたいと思えるまちづくり』

【令和元年度】

設立日	平成18年11月18日	認定日(当初)	平成18年11月22日
コミセン指定管理開始日	平成25年4月1日	認定日(条例による認定)	平成27年4月1日
事務所連絡先	<p>〈所在地〉 東近江市市子川原町461-1 蒲生コミュニティセンター内 〈電話番号・FAX〉 0748-55-3030 〈IP番号〉 050-8035-8437 〈e-mail〉 gamomachikyoe@e-omi.ne.jp 〈ホームページ〉 http://www.gamoyume.org/</p>		
代表者	会長 佐川 昭子	会員数	(R2.1.1現在) 14,669人
会議・組織	<p>総会 111名(自治会代表、自治会まちづくり委員、地域活動団体代表) 役員会 5名(会長、副会長、事務局長、会計(監事除く)) 企画会議 14名(役員、特別委員会委員長、専門部会部長) 運営委員会 35名(企画会議メンバー、運営委員、自治連三役) (特別委員会) まちづくり計画推進委員会 18名 広報企画委員会 6名 ふるさと蒲生野川づくり委員会 12名 (専門部会) ひだまり部会 9名 ふれあい交流部会 15名 エコランド部会 3名(他にモニター30名) あかね部会 7名 万葉ロマンの里づくり委員会 8名 地域活性化部会 10名 自治会まちづくり委員会 42名(各自治会1名選出) 蒲生まちづくり会議(自治連役員、市関係者、県・市議会議員、農協、コミセン、各種団体、まち協他)</p>		
予算等の概要	<p>〈一般会計〉まちづくり総合交付金:4,657千円/会費:2,100千円 /委託金:1,651千円/その他:1,092千円) 〈指定管理会計〉コミセン指定管理料:35,278千円/その他:3,922千円</p>		
情報紙の発行	<p>1 蒲生まち協の広報紙「がまチョコ」 A4版4ページ 毎月20日 4,800部発行 2 FMひがしおうみ(RadioSweet)81.5MHzにて、毎月第2土曜日午前11:00~ 蒲生まち協番組「Happy Gamo」(30分)放送 〈主な内容〉まち協の情報、自治会のまちづくり紹介、各種団体の活動紹介等</p>		
指定管理や組織運営、自治連や各種団体との連携、まちづくり活動などで特にPRできること	<p>年間の事業は、まちづくり計画を軸に、自治会連合会とまち協が両輪となり関係団体、企業等と連携しながら活動を展開している。その上で、以下に取り組んでいる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 自治連との連携強化の一環 <ul style="list-style-type: none"> 自治連とまち協の合同研修会として年1回、各地へ視察研修を実施(R1年度は、名古屋市港防災センターで研修) 自治会の課題について方策を模索(42自治会の「自治会活動」アンケート調査、意見交換会を経て「自治会アンケート結果報告会」を実施) まちづくり会議の開催 <p>蒲生地区の抱える課題等について県・市議はじめ蒲生地区の各分野で活躍されている方々と意見交換会を開催</p> 2030年を目指し改定した「まちづくり計画書」に基いた事業を進めるため、「(一社)がもう夢工房」と連携した取り組みをおこなっている(食の六次産業化、着地型観光、援農隊) 「ガリ版伝承の方向性を考える会」の開催 <p>蒲生の資源のひとつ、「ガリ版」を核として活性化を進めるため「全体構想」を策定</p> 		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

1 本部事業

- ・蒲生コミュニティセンターの管理運営を受託
- ・「蒲生まちづくり会議」の開催 ・「自治会まちづくり委員会」の開催
- ・「ガリ版伝承の方向性を考える会」の開催
- ・自治会活動に関するアンケート調査の実施及び結果報告会を開催
- ・「蒲生地区まちづくりフォーラム」の開催
- ・地域おこし協力隊への支援・地域担当職員、地域応援隊との連携
- ・あかね夏祭り実行委員会の事務局担当
- ・いきいきあかねフェア実行委員会への参画（今年度実行委員長）
- ・お月見コンサートを蒲生コミセンと共催
- ・大型金属性資源回収事業の実施
- ・「新年互礼会」の開催 ・各種団体との懇談会開催
- ・人材バンクシステムの構築 ・視察の受け入れ（13団体202名）
- ・「（一社）がもう夢工房」への参画



【ガリ版伝承を
考える会】



【あかね夏祭り】



【大型金属性資源回収】



【新年互礼会】

2 委員会活動

(1) まちづくり計画推進委員会

- ・まちづくり計画の6つの基本方針に沿ってまちづくりを進める
- ・まちづくり計画進捗管理

(2) 広報企画委員会

- ・広報紙「がまチョコ」毎月発行
- ・FMひがしおうみ蒲生まち協放送番組「Happy Gamo」
毎月第2土曜日午前11:00から30分間放送
- ・幅広く情報発信及び情報収集

(3) ふるさと蒲生野川づくり委員会

- ・川づくり啓発活動の取り組み（のぼり、ポスター、チラシ等）
- ・日野川および佐久良川の現状調査の実施
- ・日野川および佐久良川モデル地区の「除草作業とゴミ拾い」作業の実施
- ・ふるさと美化「蒲生野の日」（第3土曜日）を定め、美化活動参加と意識向上の啓発



【まちづくりフォーラム】



【視察の受け入れ】



【まちづくり委員会】



【まちづくり会議】



【蒲生野川づくり】

3 部会活動

(1) ひだまり部会

- ・「安心、安全のまちづくり事業」
- ・自治会自主防災活動サポート（出前講座）
- ・自治会減災対策の啓発及び推進（減災研修会の実施）
- ・命のバトン事業・シェイクアウト訓練実施



【減災研修会】

(2) ふれあい交流部会

- ・まち協音頭、健康体操の啓発（各自治会のサロン等に出向き啓発促進）
- ・縁側カフェ開催時に健康相談等の窓口開催
- ・健康教室開催・健康講座開催・介護予防講座・食育講座の開催
- ・検診啓発・掘り所創造事業へ参画



【コンポスト普及】



【健康教室】

(3) エコランド部会

- ・健康野菜いっぱい運動・コンポスト（設置型・ダンボール）の普及
- ・ゴーヤカーテンの設置・市より生ゴミ減量化推進事業の受託



【切れ目ない子育て拠点づくり】

(4) あかね部会

- ・シニア世代の仲間づくり、生きがづくり
- ・切れ目ない子育て拠点づくり事業（結婚活動支援事業・子育て支援事業）
- ・掘り所創造事業へ参画

(5) 万葉ロマンの里づくり部会

- ・史跡見学・「ガリ版伝承・野口謙蔵顕彰事業」の支援・マックスクラブ（わくわくチャレンジ探検隊）への参加
- ・広報誌がまチョコに「がもうのはなし」を連載・「（一社）がもう夢工房」と連携

(6) 地域活性化部会

- ・特産新品種栽培管理（果樹植栽後の育成管理）
- ・蒲生スマートインター周辺の市有地を有効利用・「（一社）がもう夢工房」と連携



【果樹育成管理】



いつも、いまも、これからも。

PIONEER CITY

東近江イズム。 HIGASHIOMISM

地の利、人の和、自然の恵み。

まちを包むうるおい、にぎわい、こちよさ。

時代を変えてきた歴史への誇りを胸に、

新たな時代を拓く人がいる。

いつも、いまも、これからも。あなたとともに。

パイオニアシティ・東近江市

【東近江市概要】

■面積 388.37 km²

■人口 114,311 人

■世帯数 44,724 世帯

(令和元年 10 月 1 日現在)



【発行】令和2年3月

〒527-8527 滋賀県東近江市八日市緑町 10 番 5 号

東近江市総務部まちづくり協働課 TEL 0748-24-5623 <http://www.city.higashiomi.shiga.jp/>